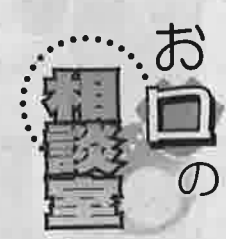


条件整えることで安定



【問い】私は40代のころから部分入れ歯を使っています。しかし、残っている歯がグラグラしてきているので、そう速くない将来、総入れ歯になってしまうでしょう。歯の支えがない入れ歯で、きちんと生活はできるものでしょうか。(長崎市、60歳女性)

【答え】入れ歯は、むし歯や歯周病などで自分の歯がなくなった場合の治療の選択肢の一つです。①機能面(しっかりかめて食べられる)②快適性(違和感が少なく長時間お口の中に入れることができる)③審美性(美しく、自然な外見、さまざまな表情をつくれる)④耐久性(清潔で丈夫)が求められます。

で、入れ歯と歯肉が接する面が陰圧(真空状態)になることで入れ歯が安定します。下の総入れ歯は舌があるために少し複雑ですが、歯肉と唇、舌、頬の粘膜や筋肉のバランスをしっかりと取ること安定させることができます。

もちろん上下のかみ合わせを良い形にしておかないと、入れ歯が安定しなかったり、違和感が強くてかめなかったり、痛くて使えなかったりと、つらい状況に陥りかねません。入れ歯は定期的なメンテナンスが欠かせません。部分入れ歯を使っている人も、残っている歯が耐えられなくなれば、総入れ歯に変えた方が機能面、快適性、審美性、耐久性、そして健康面からも良いと思います。

入れ歯」に大きく分けられます。部分入れ歯は一般的に残っている歯を入れ歯の支えとして安定させます。総入れ歯は安定を確保するための歯がない状況で使用されるものです。

かかりつけの歯科医で定期的に診てもらうことが大切です。お口は元気の源である食事を取る命の入り口であり、大切な言葉を紡ぎ出す心の出口です。どうぞ大切にしてください。

上顎の総入れ歯であれば頬の粘膜や口の中の筋肉とのバランスをしっかりと取ること

質問をどうぞ

回答者
おおひら 大平 孝造
長崎市弁天町 大平歯科診療所 歯科医師



歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒805-2186 001、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

総入れ歯でも大丈夫?